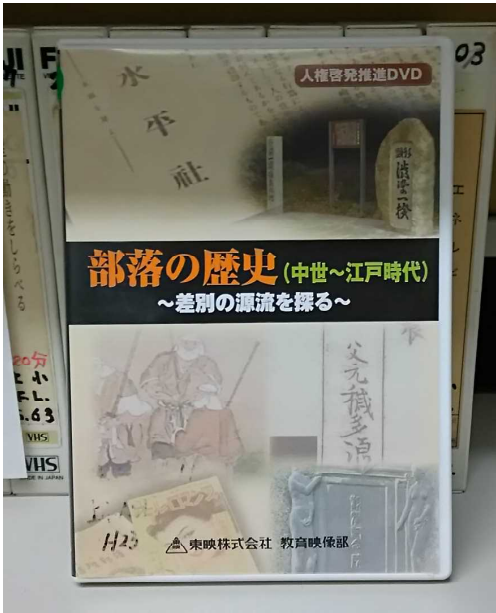


## 教材紹介

<p>【タイトル】</p> <p style="text-align: center;"><b>部落の歴史（中世～江戸時代） ～差別の源流を探る～</b></p>	
<p>【教科・領域】</p> <p style="text-align: center;"><b>社会科 人権同和教育</b></p>	
<p>【保管棚番号】</p> <p style="text-align: center;"><b>G-3</b></p>	
<p>【バーコード番号】</p> <p style="text-align: center;"><b>101666</b></p>	
<p>【内容の概略】</p> <p>部落差別はいかにして始まったのか。          1990年頃までは「江戸幕府の支配体制確立のために幕府によって作られた制度としての差別である」という説が一般的に言われていたが、歴史をひもといていくと、もっと古い時代からあり、そして、支配者たちの政策によるものでもなかったことがうかがえる。          「生命」を扱う仕事を生業としていた人たちへの「畏れ」という感覚が、時代の流れとともに「穢れ」という感覚に移り変わっていったことが、わかりやすく系統的に解説されている。</p>	
<p>【感想・児童の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死んだ牛や馬をほうむったり、死んだ人をほうむったりする仕事は、その仕事をしている人たちにとっても気持ちがよくないと思うけれど、もしそういう人たちがいなくなったら、町は牛や馬、人の遺体だらけになっちゃうと思います。なのに、そういう人たちに感謝せず、差別してしまうのはひどいことだと思いました。</li> <li>・ 神社や寺をそうじする人たちも差別されてしまったと聞いた時に、町や村の大事な部分をきれいにしてくれているのに差別するというのはおかしいと思いました。</li> <li>・ 犯罪者をつかまえるなどのいい仕事をしている人を差別するのはおかしいと思いました。</li> <li>・ 明治時代になって、法律で差別はなくなったけれど、それですぐには差別がなくなることは私にもわかりません。でも、それから100年以上もたって、少しずつ差別がなくなっていく時間があったはずなのに、まだ残っているのはおかしいと思います。</li> <li>・ 江戸時代の身分制度をいつまでも引きずってほしくないと思いました。みんな同じ空の下で生まれて、同じことをして生きているんだから、差別はいらないと思います。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（H27 上小AVL研究部員）</p>	